

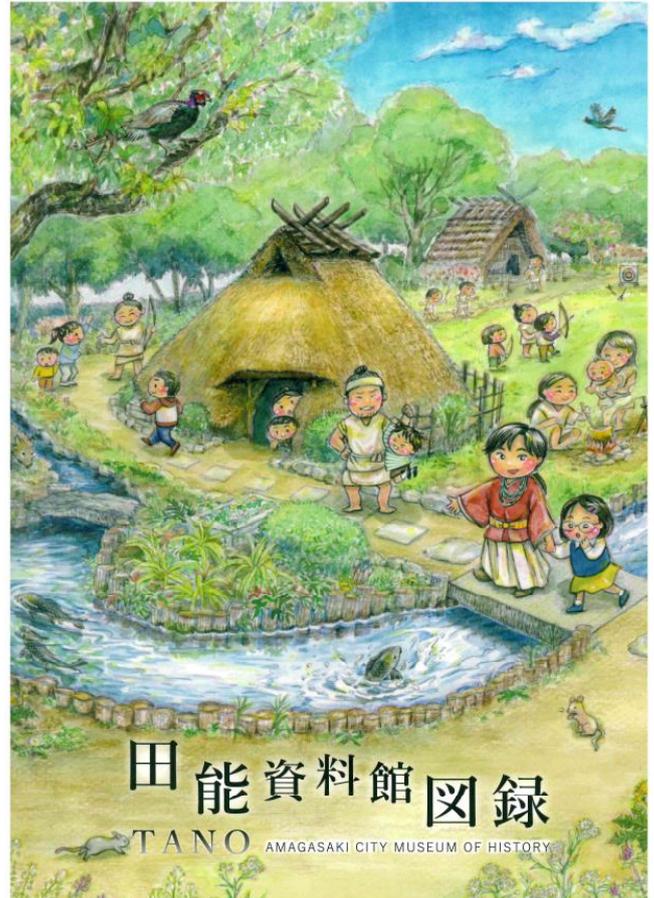
|     |                      |
|-----|----------------------|
| 所 属 | 歴史博物館                |
| 所属長 | 伊元俊幸                 |
| 電 話 | 06-6492-1777 (田能資料館) |

## 田能資料館の図録を約20年振りにリニューアルし発行します

全国的にも重要な弥生時代の集落跡である国指定史跡・田能遺跡。その上に立地する田能資料館は昭和45(1970)年の開館以来、市民をはじめ多くの方々に弥生時代のくらしや文化を伝えるとともに、緑豊かな憩いの場として親しまれています。

田能資料館では、兵庫県指定文化財を含む貴重な出土遺物や復元住居、また資料館を開館するきっかけとなった市民による田能遺跡の保存運動などを紹介する図録を頒布してきました。

この図録を約20年振りに改訂するにあたり、新たな資料の掲載など内容の充実を図りながら全ページカラーとしてリニューアルしました。田能遺跡や資料館の魅力をわかりやすく解説しています。歴史を学ぶ資料として、また地域を愛するきっかけとして、より多くの人にご活用いただける資料となっています。



田能資料館図録

### 1 改訂版の主な特徴

#### 【内容の充実】

- ・ 史跡公園(屋外展示)の解説を追加しました。図録を片手に復元住居や墓、発掘された人骨を、より深く学ぶことができます。
- ・ 遺跡の保存運動の様子を伝える当時のビラなど、貴重な資料も新たに掲載しました。
- ・ 著名な弥生時代の研究者で、ご自身も発掘調査に関わられた森岡秀人先生(関西大学大学院)に田能遺跡がどのような遺跡だったか執筆いただきました。

### 2 概要

- (1) タイトル 田能資料館図録
- (2) 体裁 A4判 カラー80頁
- (3) 内容 別紙参照
- (4) 刊行部数 500部
- (5) 頒布価格 1冊 800円(窓口販売及び郵送販売) ※ 令和4年5月1日から

#### 【販売・問い合わせ先】

尼崎市立歴史博物館田能資料館 〒661-0951 尼崎市田能6丁目5番1号  
TEL/FAX : 06-6492-1777 E-Mail : ama-tanosiryokan@city.amagasaki.hyogo.jp

## 田能資料館図録の内容

### 1章 田能遺跡

考古学史上「市民による遺跡の保存運動」として有名な田能遺跡の保存運動と、田能遺跡や調査について紹介します。考古学会で調査団長村川行弘の要請に呼応して、全国から調査を手伝いに来た若い考古学者たち。彼らを市民たちは人情味あふれる炊き出しや差し入れで応援し、その縁から調査員に保存運動を頼まれます。試行錯誤しながら、遺跡を守るために動いた市民たちは、ようやく田能遺跡の保存に成功し、ついに田能資料館の開館にこぎつけます。

### 2章 史跡公園

田能遺跡には、実物大の弥生時代の建物が3棟復元されています。また、史跡公園は弥生時代の墓地として、3基の方形周溝墓、17基の棺に葬られた遺骨が見つかっています。今回、初めて人骨について詳しく解説しています。

### 3章 収蔵・展示棟

田能遺跡で見つかった土器や石器から弥生時代の暮らしについて解説しています。田能遺跡では、弥生時代の王墓と考えられる第16・17号墓と彼らが身に付けていた豪華な装飾品である632個の管玉のネックレスや白銅製の腕輪についても解説しています。

### 4章 田能遺跡と近畿の弥生社会

弥生時代の王が治めていた田能遺跡とはどのような遺跡なのか。著名な弥生時代の研究者でご自身も調査や報告書作成にかかわられた森岡秀人先生(関西大学大学院)に、出土品からわかる田能遺跡の性格について書いていただきました。

#### (表紙)

表紙は絵師・米村治美さんに依頼し、現代の人と弥生時代の人が共に田能遺跡に集い、むかしの人から当時の暮らしを教えてもらう様子を描いた楽しい絵になっています。